



「てらこや」では、活動を応援してくださる方を募集しています。

てらこやはみなさまからのご支援により運営されています。

お寄せいただいたご支援は、責任をもって、子供たちの未来、若者の未来、

日本の未来につないでいくことに活用させていただきます。

ご協力のほどよろしくお願いたします。

サポーター募集

てらこやでは、活動の主旨に賛同し継続的なご支援をいただけるマンスリーサポーターを募集しております。
ホームページよりクレジットカード決済にて承っております。

また、継続的ではない、定額でない、ご寄付もありがたく受け付けております。

ホームページよりクレジットカード決済にて承っております。

地域教育に関する講演会、セミナーの講師派遣も行っております。

お問い合わせは、<http://terakoya-network.com/contact/>

ホームページのお問い合わせページより承っております。

子供たちのため、若者のため、未来の日本をつくる人材育成のためのお力添えをお願いいたします。

団体名
内閣府認証NPO法人全国てらこやネットワーク

住所
〒247-0056 鎌倉市大船1-25-23 千里ビル3階

HP
<http://terakoya-network.com/>



内閣府認証NPO法人全国てらこやネットワーク
感動そして未来へ



日本の将来を託すに足る子どもたちを育てよう

理事長のごあいさつ

「現代版てらこや」と、聞いて、
皆さんはどのような事を想像するだろうか？
この、てらこやはみなさんの思いつく
寺子屋とは似て異なるものだ。
ここで培うのは生きる力、得るものは仲間だ。
私は、てらこやには無限の可能性を感じている。
可能性は無限大
地域の宝(子供・若者)を共に育てましょう
未来の日本のために

NPO法人全国てらこやネットワーク
理事長 大西 克幸

Vision

私たちが目指す社会

感謝と共生のあふれる
社会の実現を目指します。

Mission

私たちの使命

- 自ら考え、判断し、
行動する事ができる人をそだてます。
- 子供たちの心の拠所となる
場をつくります。
- 世代の立場を超えた
コミュニティをつくります。

Value

私たちの価値

- 複眼の教育
- 道理と感謝
- 自主性と調和
- 多様性(人種・性別・思想・宗教)
- 地域の独特性
(自然・歴史・文化)



てらこやにはドラマがある

郷 優里 職業：ハウスメーカー / 営業推進部
(てらこやちばOG/てらこやちば・大人運営理事)



学校以外の教育の場や、多世代教育に興味をもっていた私は、サークル活動のひとつとして、てらこやを選んだ。活動に参加してみると、そこには、一人ひとりの子供たちに真剣に向き合い、子供たちのためにどのように活動をしたらいいのか？を考え続け、工夫を凝らす、面白い学生がたくさんいた。また、それだけではなく、その学生の活動と成長を見守る大人がいた。学生は子供のために、大人は学生のために、私が探していた多世代教育の場がそこにあった。私がてらこやにハマるまでに時間はかからなかった。子供を対象とした事業であるという事がみんなを真剣にさせるのかもしれないが、てらこやの学生はとにかく真剣だ。子供を対象だからということだけではなく、その先を考えているからなのだと思う。事業の時、活動の時にただ楽しかったらいいという事に留まらない、そこに子供たちに何か学びがあるか？など、子供たちのために考え抜き活動をする。事業や活動について、学生同士で朝まで議論した夜は数えきれない。意見がぶつかることもあった、でも、本気で議論をするからこそ、本音で話することができる仲間が出来た。この仲間は私の宝物だ。また、大人を交えて活動をしていることで、学生の甘さを知ったことも数知れず。少し先に実社会を体験することも出来た。信頼してもいい大人の中で経験できたことは私の自信に繋がっている。てらこやの活動にはドラマがあると思う。特別なエピソードだけがドラマなのではなく、小さな発見も、小さな成長も、つなぎ合わせて紡いでそれがその人だけの壮大な人生というドラマになっていく。てらこやは子供、学生、大人にドラマの小さなカットを提供し続けている。そして、てらこやちばのドラマも後輩たちによって今も脈々と紡がれている。そして、私は人生の価値観や生き方をてらこやで学んだ。これからはOGとして社会人の立場からもてらこや現役生をサポートできるようになりたい。

「てらこや」から羽ばたき、 社会で輝く若者たち

よき人との出会い

吉田 大裕 職業：宮島弥山 大本山大聖院 副住職
(鎌倉てらこやOB/宮島てらこや事務局員)



私は広島県廿日市市宮島町にある真言宗御室派大本山大聖院に長男として生まれた。私の父である住職はアイデアマンで開かれたお寺づくりに長年に渡り取り組み、宮島にそして大聖院に人が訪れる仕掛けをうっている。その結果、自坊では、よく行事が開催され、私の周りにはいつも多くの大人、少し歳の離れたお兄さん、お姉さんがいた。そして、自坊でなにか行事が開催される時はいつもお手伝いをさせられていた。私が高校生の時、自坊で宮島てらこやが始まった。私は、いつもの如く、お寺の一つの行事として、手伝うこととなった。ただ、ひとつ、いつもの行事と違ったのは、大学生のお兄さん、お姉さんの楽しそうな顔と、ノリの良さに私も将来、こうなれたらいいなという感情が心の底から湧き上がっていたということだ。これがきっかけとなり大学生になり、上京した私は鎌倉てらこやの活動に参加することとなった。期待を裏切ることなく、てらこやの活動は楽しかった。てらこやネットワークの活動にも参加し、全国のてらこやに友達が出来た。そんな楽しい時にも、私には気がかりなことがあった。そう、私の将来についてだ、親はいつも「自分の好きなように生きなさい」と言ってくれていたが、周りの人の影響もあり、子供のころから自分の気持ちに素直になれていたかという、いい子を演じながら、生きてきた時もあったと思う。また、「なぜお寺に生まれてきたのか、お寺なんて継ぎたくない」と葛藤していた日々もなかったと言えば嘘になる。そして、お寺を継ぐ前に、社会に出てみたいと思うようになった。就職活動をするつもりでいたが、なぜか、就職先として、てらこやを選ぶこととなった。その後修行に入り、現在は副住職として僧侶の道を邁進することとなった。今となっては、てらこやではない場所で社会人としての経験をしたかったと思うこともあるが、これがご縁だったのだろう。現在は、宮島てらこやの事務局員として、てらこやに関わり続けている。なぜ、関わり続けるのだろうか？自坊で開催しているから、だけではない。「てらこや」という場が、私がどう生きていくことがいいのかという道とよき人との出会いをいつも与えてくれたからだ。そして、てらこやが私の中にいろいろな引き出しを作ってくれた。そして、仲間が出来た。今、多くの仲間が私を訪ねて宮島の自坊を訪れてくれる。これからは私はよき人として、子供たちや後輩に背中を見せていきたい。

コミュニケーション能力を磨く場所

三宅 咲子 職業：サービス業
(西宮てらこやOG)



高校生の時宮島てらこやの大人スタッフである父に合宿に連れて行かれたのが私のてらこやデビューだ。高校生の私は、なにをしたらいいのやらで緊張していたが、班つきにしてもらった。私の緊張をほぐしてくれたのは子供たちだった、すぐに名前を覚えてくれてとてもうれしかったことを覚えている。名前を覚えてもらえるだけでこんなにうれしいなんて、私もうれしいことはみんなもうれしいはず、コミュニケーションの第一歩は名前を覚えることだと子供たちから学んだ。大学は地元広島を離れ、兵庫県西宮市へ。西宮にもてらこやがあることを知り、学生時代は西宮てらこやで活動することに。また、ここでもコミュニケーションを学ぶことになる。西宮てらこやが海清寺で合宿をさせて頂くにあたり、初めて海清寺の雲水さんと打合せを時のこと、こんな事を言ったら怒られるかもしれませんが終始仏頂面。こちらが提出したタイムスケジュールが綺麗に修正されて返ってきたり、もう悔しくて悔しくて、この悔しさが1番印象に残っている。何回も打合せを重ねていくうちに、徐々に壁がなくなり、今では西宮てらこやを支えて下さり、何でも相談できる存在に。社会人となった今ではわかる気がするのだが、女子大生たちにどう接していいものか、戸惑ったに違いない。修行を積んでる雲水さんと女子大生、どう考えても対極に存在する。私たちの事を理解してもらうにも、何度かのやり取りが必要だったのだろう、そして、私たちも、悔しさも後押しして、必死にくらいついた。本気が伝わったからこそ、対極にある存在同士が今はいい関係にあるのだと思う。大学生ながら、雲水さんと対峙する経験をしたり、てらこやの大人スタッフにお願いごとや意見を言ったり、大人と話をする機会がたくさんあった。その結果目上の方とのコミュニケーション力が付いたのかな？と感じている。それだけではなく、人前でお話をする機会もたくさん与えられ、度胸もついた。社会に出ると、否応なしにいろいろな方とコミュニケーションを取ることから逃げられない、私はてらこやでその予行練習をさせてもらったのかな、と思う。でも、コミュニケーションの大切さは宮島てらこやの子供たちから学んだ。名前を覚えてくれてうれしかった気持ちを忘れずにいたい。

子供を取巻く環境 現状 これから

バーチャルからリアルへ

この20年で外遊びをする子供たちが激変した。公園で遊ぶにも禁止事項が多く、思いっきり外で体を動かすことを知らずに子供たちは大きくなっていく。

感情を爆発させ、時には怪我をするようなリアルな体験の機会が減っている。

子供たちの好きな遊びといえば、ゲームだ。サバイバルゲームで人を殺してもそれはバーチャルの世界だ、バーチャルの世界しか知らない子供たちは命の尊さや、友達の大切さというリアルな世界をどこで学べばよいのだろう。こんな社会にしたのは、大人たちだ。

子どもたちを取り巻く環境はどんどん変化をしている。きっと、これからもどんどん社会の在り方は変わっていくであろう。その中で、私たち大人が心に留めておくべきことは、「その影響を子どもたちが受けている」ということだ。

リアルな体験の場がてらこやにはある。

全国に広がる「てらこや」運動



1982年 精神科医 森下一先生が姫路市に森下神経内科診療所を開設。不登校の子供たちが多く来院する事に驚き、「子供たちが困難な状況に陥らない未然予防」についての取り組みを始める。

1986年 森下一先生により姫路市にフリースクール「京ロスコラ」を開設。不登校の子供たちの居場所作りの一歩が始まる。



1989年 不登校児のための全寮制学校、生野学園高等学校（文科省認可）を開設。これにより高校卒業資格の取得が可能となる。

2002年 「鎌倉てらこや」実行委員会が佐藤美智子氏（鎌倉大仏殿高徳院）を中心に、鎌倉青年会議所や鎌倉の寺院、鎌倉在住の文化人の協力を得て発足する。



2003年 「鎌倉てらこや」設立。建長寺において二泊三日の合宿事業が開催される。「本気 de 建長寺」また、早稲田大学社会学部池田雅之教授の協力により、池田ゼミの学生たちがゼミの一環として参画するようになる。

2006年 「鎌倉てらこや」が日本青年会議所褒章（教育青少年関係推進部門）受賞。（その後、広島県宮島、群馬県伊勢崎、埼玉県朝霞、愛知県豊田、新潟県南魚沼、燕三条、大阪府泉大津、沖縄県浦添などに青年会議所のネットワークを活用し、てらこやが設立される）



2008年 鎌倉に「てらこやハウス」という場が出来る。（子供たちの居場所・学生の活動拠点）（2015年には子供たちの居場所としてプレジデントファミリーに掲載。）

2009年 「全国てらこやネットワーク」が設立される。てらこやの理念を広く全国に広めるべく「Action50」を旗印に50ヶ所の設立を目指す。



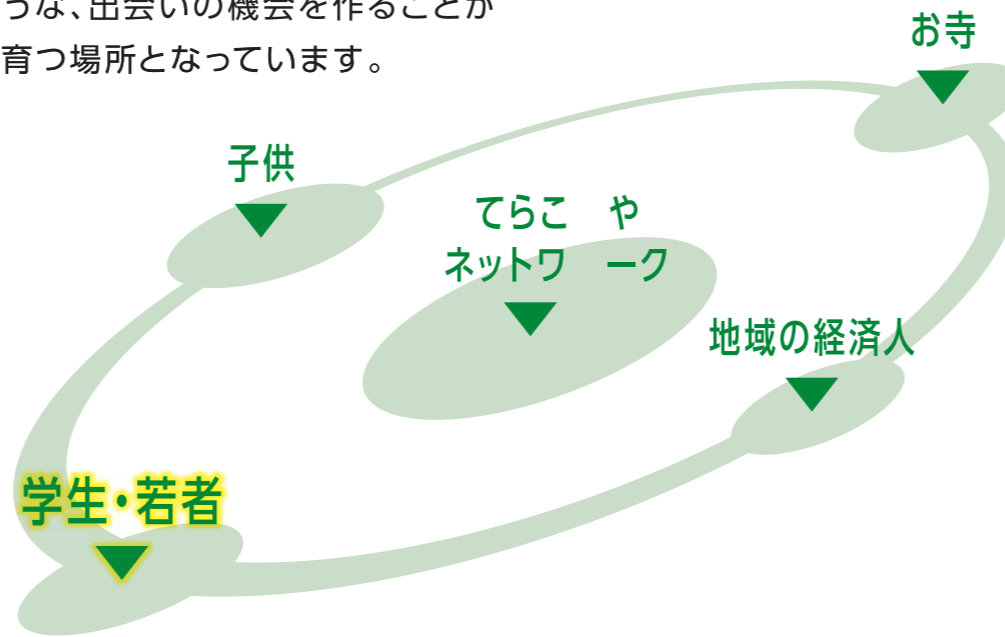
2010年 「全国てらこやネットワーク」が内閣府認証NPO法人格取得。

2016年 「全国てらこやネットワーク」がグッドデザイン賞（地域・コミュニティづくり/社会貢献活動）を受賞。

「感動体験」「よき人との出会い」「複眼の教育」

てらこやは、子供たちがあんな大人になりたいと思うような、出会いの機会を作ることが大きな目的の一つです。その結果、関わった全ての人々が育つ場所となっています。

特に、大学生の成長は目を見張るものがあり、この活動の大きな特徴は子供との関わりの中で、子供が成長するだけでなく、大学生が成長するということです。



北海道エリア	②函館てらこや	E-mail: hakodate.terakoya@gmail.com	HP: http://hakodate-terakoya.blogspot.jp/	SNS: https://www.facebook.com/hakodateterakoya/
北陸エリア	⑥寺子屋つばさ	E-mail: info@terakoya-tsubasa.jp	HP: http://www.terakoya-tsubasa.jp/	
関東エリア	⑪伊勢崎てらこや	E-mail: isesakiterakoya@gmail.com		
	⑫てらこやちば	E-mail: info.terakoyachiba@gmail.com	HP: http://terakoyachiba.web.fc2.com/	SNS: https://m.facebook.com/Terakoyachiba/?locale2=ja_JP@terakoya_chiba
	⑬市川てらこや	E-mail: ichikawaterakoya@gmail.com	HP: http://ichitera.wixsite.com/home	SNS: https://www.facebook.com/ichikawa.terakoya/?fref=ni@ichikawaterakoy
	⑰NPO法人戸塚てらこや	E-mail: d.kawaguchi@yokohama-seibi.co.jp		SNS: https://www.facebook.com/totsukaterakoya/
	⑱NPO法人鎌倉てらこや	E-mail: info@kamakura-terakoya.net	HP: http://kamakura-terakoya.net/	SNS: https://www.facebook.com/kamakuraterakoya/@k_teranosuke
東海エリア	⑳NPO豊田てらこや	E-mail: info@toyota-terakoya.com	HP: http://toyota-terakoya.com/	SNS: https://www.facebook.com/豊田てらこや-221137411304557/
関西エリア	㉒びわこてらこや	E-mail: biwatera@gmail.com		SNS: https://www.facebook.com/kusatera/
	㉙泉佐野てらこや (SANOTERA)	E-mail: fukuju@rinku.zaq.ne.jp		
	㉚NPO法人西宮てらこや	E-mail: nishinomiya.terakoya@gmail.com		SNS: https://www.facebook.com/nishinomiyaaterakoya/
中国エリア	㉗宮島てらこや	E-mail: miyajimaterakoya@gmail.com		SNS: https://www.facebook.com/miyajimaterakoya

てらこやアワード2017 事業報告

てらこやが生まれた「鎌倉」の地に全国のてらこやで活躍する大学生が集まり、自分たちの活動を大仏様に報告させていただきました。
また、交流や学びが深まる多彩なプログラムの中で、学生たちは多くの学びと思い出を胸や心に刻み、同じ目標を持つ仲間たちと友情を深めた2日間でした。

てらこやの活動の企画運営の主体は大学生です。
このアワードはOBOGが主体となり開催されました。
先輩から後輩へ、活動の手法だけでなく、大事にしていきたいスピリットのバトンがリレーされていく。これも「てらこや」の素晴らしい仕組みです。



開催概要

日時：2017年10月8日(日) 9日(月)
場所：鎌倉大仏殿高德院臨濟宗建長寺派大本山建長寺

開催趣旨

てらこや運動の原点を確かめる。
全国各地のてらこやの活動内容成果を共有する。
全国各地のてらこや間の交流を促進する。
対外的な発信を行い社会的評価を高める。

内容

各地てらこやの大学生による事業内容、成果のプレゼンテーション。
他の地域のモデルとなる事業を表彰する、アワード。
こやの歴史やてらこやVISIONMISSIONの共有などを行う、全体研修。
建長寺で宿泊、禅の作法での食事研修、坐禅体験、作務なども体験しました。
参加者数18てらこやから、115名。

大仏様にこれまでの活動を報告するとともに、
これからの抱負も誓いました。来年もまたこの場所で集いましょう。



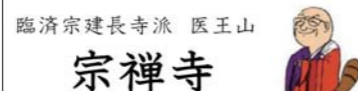
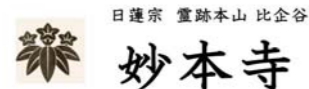
大西理事長挨拶



精神科医森下一先生(てらこや運動の生みの親)からご講話いただきました。

多くの皆様にお力添えをいただき、おかげ様をもちまして盛会

てらこやアワード2017の開催に際し
ご協賛をいただきました。
ご温情に心より感謝いたします。



アワード受賞てらこやの紹介

戸塚ワールド (戸塚てらこや)

事業の概要

2017年より、地域の子供たちに戸塚てらこやの事をもっと身近に感じてもらうために、「申し込み不要」「参加費無料」の新事業「戸塚ワールド」を開催。初事業ということもあり、当日、子供がだれもいないという危機に直面。そこで会場の公園で学生たちが積極的に声をかけ、最終的には13人の子供たちが参加。戸塚ワールドを通して、考えたことは、地域にてらこやを届けるスローステップとして ○子供たちの日常に自分たちが足を運ぶこと ○学生が遊んでいる姿を見せること ○自分たちから話しかける、そして話を聞くということ この三つがとても大事であり、このアクションこそがてらこやを届けるということに繋がるという事を学んだ。

受賞のポイント

新たな企画にチャレンジするも、参加者がゼロというピンチに直面。そのピンチをチャンスに変えた思考と行動が素晴らしい。本気でやれば、学生の力で地域を動かせる。そんな期待を感じた。



「夏合宿勇気を持ってチャレンジしよう！」(武蔵てらこや)

事業の概要

子供たちには緊張することや抵抗のある事に挑戦してもらい、今後“新しいことに挑戦するとき”や“つまづいたとき”など様々な場面で武蔵てらこやの夏合宿の思い出を原動力にしてもらいたいと考え、将来に生きる学びを目指した。
コンテンツとしては模擬店づくり。模擬店をつくるために、「名刺交換」では社会的マナーを学び、「商店街インタビュー」にもチャレンジした。また、子供にはお店を運営するうえでリーダー、マネージャー、プロデューサーといった役割にそれぞれついてもらい、自分たちで2日間のスケジュールやお店の装飾を考えた。

受賞のポイント

地域の中に子どもたちを連れて飛び込んでいった点が素晴らしい。企画に工夫が凝らされており、大学生自身もワクワクするような「感動」に溢れていた。



に終える事が出来ました。改めまして深く感謝申し上げます。

曹洞宗
相生山 鳳仙寺
群馬県桐生市梅田町 1-58
電話：0277-32-1177
★Facebook 『鳳仙寺』で検索！

安藤
創業 1950年
〒105-0014 東京都港区芝 2-7-15 TEL: 03-20-20-0101 FAX: 03-20-20-0102
〒105-0014 東京都港区芝 2-7-15 TEL: 03-20-20-0101 FAX: 03-20-20-0102
〒105-0014 東京都港区芝 2-7-15 TEL: 03-20-20-0101 FAX: 03-20-20-0102

日本青年会議所 宗教部会
部会長 坪井良樹
http://religion-jc.com

創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具
株式会社 若林佛具製作所
文化財修理 社寺内装・外装工事
株式会社 若林工芸舎
京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入
フリーダイヤル ☎0120-37-8585(各店共通)
東京支社・薬地店・札幌店・仙台店・福岡営業所
ホームページ http://www.wakabayashi.co.jp/ Eメール info@wakabayashi.co.jp

昭和36年創業
千里の餃子
1日1000個 売れる餃子
千里の餃子は1日1000個以上お買い上げ頂いています。
千里の餃子は100%国産野菜。
餃子の皮も国産小麦から手づくりしています。
〒105-0014 東京都港区大船1-4-1 本2F 0467-48-5125
〒105-0014 東京都港区大船1-4-1 本2F 0467-48-5125
〒105-0014 東京都港区大船1-4-1 本2F 0467-48-5125
株式会社 千里 http://www.senri-dining.com/

株式会社 彩プロダクツ
http://www.saiproducts.co.jp/
東京都港区南青山 2-26-34

一年間のてらこやネットワークの活動を簡単に報告させていただきます。
 全国40か所のてらこやでは、約900回の活動を行い、
 約11,000名の子供達にてらこやを届ける事が出来ました。

1月20日(金)てらこやネットワーク総会(京都:知恩院和順会館)

3月2日(木)内閣府主催:子供の貧困対策マッチング・フォーラム 横浜(横浜情報文化センター)
 『NPO×企業×自治体×市民』。子供の貧困を自分の事としてとらえて、それぞれの立場で繋がろう!というフォーラムが内閣府の主催で開催され、てらこやネットワークは子供の未来応援基金採択団体として参加いたしました。また、大西理事長がパネルディスカッションのパネラーとして登壇させていただき、てらこやの取り組みについてプレゼンテーションをさせていただきました。

4月1日(土)2日(日) リーダーズ合宿(ライジングフィールド軽井沢)
 チームでアクティビティに挑戦する事で、頭だけでなく、身体、感情をフルに活用し、直接体験による学びを得ることができました。てらこやのルーツに触れながら、自分自身、仲間と向き合った2日間。青と白が織りなす世界で、とても豊かな時間を過ごしました。てらこやに携わる大学生、大人スタッフが「自分らしさ」を大切にしながら、ミッションビジョンを達成するための確かな一歩目を歩み始めました。

10月8日(日)9日(祝月)てらこやアワード2017(鎌倉大仏殿高德院・臨済宗建長寺派 大本山 建長寺)

てらこや交流事業 学生たちがホームてらこやを飛び出して全国の仲間と交流を行いました。

鎌倉てらこや・建長寺合宿 8月7～10日
 てらこやちば・夏合宿 8月
 宮島てらこや・秋合宿 11月

てらこや食堂

延べ開催回数 34回 延べ参加者数(子供)1450名
 てらこや立ち上げの新しいスキームとして、一定の成果を挙げています。

受賞歴

- 2007年 「博報賞ならびに文部科学大臣奨励賞」(鎌倉てらこや)
- 2011年 「第三十五回正力松太郎賞本賞」「第5回共生・地域文化大賞」(鎌倉てらこや)
- 2015年 「YOUNG JAPAN ACTION 浅田真央×住友生命」奨励賞 (てらこやちば)
- 2016年 「グッドデザイン賞(地域、コミュニティづくり社会貢献活動)」(てらこやネットワーク)
- 2016年 新潟県異業種交流センター主催「地域活性化大賞」準グランプリ(寺子屋つばさ)
- 2017年 「第20回地球倫理推進賞受賞」(鎌倉てらこや)

助成金採択実績

- ジョンソンアンドジョンソン 助成プログラム(2015年4月から2018年3月)
 児童保育施設等への大学生ボランティア派遣プロジェクト(鎌倉てらこや)
- 2016年度子供未来応援基金 第1回未来応援ネットワーク事業
 てらこや食堂(てらこやネットワーク)
 地域・行政・大学生の連携による子どもたちのための居場所作り事業(鎌倉てらこや)
- 2018年度子供未来応援基金 第2回未来応援ネットワーク事業
 地域の子供たちの居場所作り事業 ～地域のプラットフォーム～(てらこやネットワーク)



理事長 大西 克幸

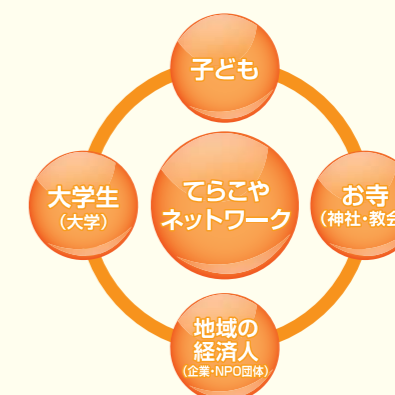
株式会社彩プロダクツ 代表取締役社長 株式会社光石南青山 取締役副社長
 略歴:埼玉県生まれ 明治学院大学卒
 朝霞青年会議所理事長・日本青年会議所議長・JCI役員 会頭特別補佐を歴任
 2011年(平成23年)1月1日より現職

理事・役員名簿 (2018年2月現在)

役職	氏名	所属てらこやなど	職業
理事 特別顧問	湯澤 大地	鎌倉てらこや	株式会社千里 代表取締役 面白法人力リソース顧問
専務理事	上江洲 慎	鎌倉てらこや	株式会社キャリアアット鎌倉 代表取締役
事務局長	市川 慎一	鎌倉てらこや	会社役員
副理事長	西村 忠浩	びわこてらこや	近畿環境保全株式会社 代表取締役
副理事長	松丸 陽輔	市川てらこや	有限会社松由商店 取締役
副理事長	三宅 朗充	宮島てらこや	株式会社ロウジュー 代表取締役
副理事長	嘉瀬 一洋	てらこやつばさ	株式会社エフピーエム 代表取締役
副理事長	平田 裕之	西宮てらこや	平田建築設計株式会社 代表取締役社長
特別理事 広報担当	藤澤 義博	函館てらこや	日本航空株式会社 勤務
理事	篠塚 大三	てらこやちば	会社役員
理事	郷 優里	てらこやちばOG	ハウスメーカー勤務
理事	入沢 健	武蔵てらこや	立花証券株式会社勤務
理事	上田 昭憲	武蔵てらこや	新座薬師蓮光寺 住職
理事	久保 文孝	伊勢崎てらこや	株式会社ダスキン本庄 代表取締役
理事	小橋 敏徳	佐渡てらこや	寶珠山 延命院住職
理事	齋藤 賢一	会津てらこや	湯川村議会議員
理事	佐藤 匠	創志館相模原てらこや	有限会社レポート企画 代表取締役
理事	川口 大治	戸塚てらこや	株式会社横浜セイビ 取締役
理事	松谷 一機	豊田てらこや	株式会社マツタニ 代表取締役
理事	森口 友博	S ANOTERA	会社役員
理事	伊東 政浩	横浜てらこや	日蓮宗西山寺常照寺住職
理事	高橋 秀年	小豆島こどもてらこや	株式会社丸島ハウジングサービス 専務取締役
理事	平本 祥啓	小田原てらこや	臨済宗建長寺派 小竹山東隆寺住職
理事	倉嶋 慶秀	太田青年会議所	西願寺 あすなる保育園
理事	長田 憲樹	市川てらこやOB	団体職員
理事 財務担当	村瀬 幸子	事務局 ファンドレイザー	主婦 元大学職員
監事	岩田 真明	S ANOTERA	真言宗御室派福寿山極楽寺住職
監事	石原 成昭	泉州てらこや	浄土宗生福寺住職

顧問

安里 繁信	シンバホールディングス株式会社代表取締役会長
池田 雅之	早稲田大学名誉教授
佐藤 孝雄	慶應義塾大学文学部教授 鎌倉大仏殿高德院住職
吉田 正裕	宮島弥山大本山大聖院住職

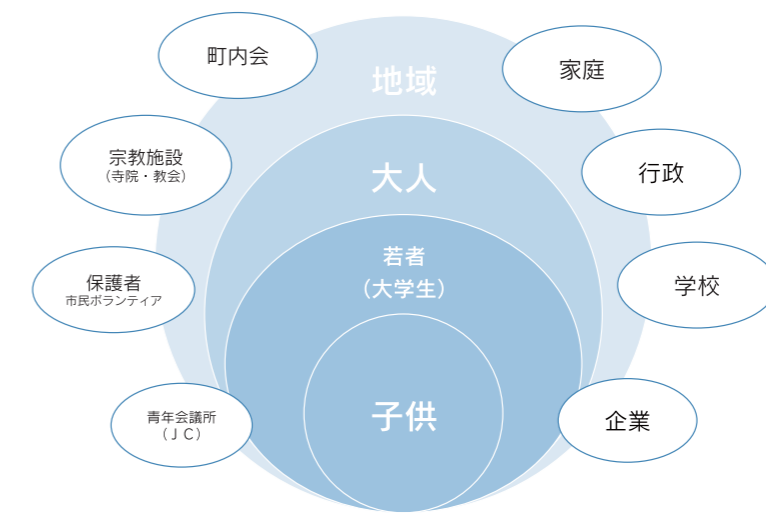


地域総掛かりの教育プロジェクト

活動を通じて、子供たちが輝き、学生が磨かれていきます。



地域総掛かりの教育プロジェクト



**多世代参画型
コミュニティ**

地域の子供×学生×大人
縦・横の繋がり大切
誰もが主役「居場所」

**3つの教育現場を
結ぶ**

「学校」「家庭」「地域」
機能を結ぶことによる
創造的な人材育成

**多様なアクターの
関わり**

様々な価値観を持つ団体
協働し人が育つ仕組み
宗教者の関わりも重要



地域総掛かりの教育プロジェクト「てらこや」
てらこやネットワークの活動やスキームにつきまして
2016年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

2016年(第1回) 2018年(第2回) 事業採択



リーダーズ合宿 (大学生選抜リーダー育成のための合宿)

てらこやの学生向けの合宿。てらこやの理念や数々の活動事例を学ぶだけに留まらず、外部講師による研修もおこないチームビルディングなども学びます。また、全国の仲間と交流をすることで多様な価値観に触れる機会になっています。

てらネット合宿 (全国の学生が参加する合宿)

全国のてらこやから、学生が集まり、一つの合宿を開催します。各地持ち回りで、全国で開催しています。各地のてらこやメンバーが互いに刺激しあいながら、交流を深め、友情を育みます。

てらこやAward (理念を共有する場)

全国各地のてらこや事業を発信・共有する場として年に1回鎌倉で開催。地域の独自性を活かした事業を発表することにより学生のプレゼンスキルも磨かれ、様々な気づきを共有します。各地で展開される様々な事業を通じて、大事にしたい価値観や理念を認識・共有する場としても開催しています。

2017年 メディア掲載実績

- テレビ ラジオ**
- テレビ神奈川 「TVKニュース」『てらこや食堂』(2017年3月17日)てらこやネットワーク・横浜てらこや
 - NHK北海道「道南知っ得」函館てらこやの取り組み(2017年7月5日)函館てらこや
 - NHK首都圏「ニュース」 建長寺合宿 (2017年8月6日) 鎌倉てらこや
 - JCOM湘南 「デイリーニュース」夏休みてらハウス (2017年8月16日) 鎌倉てらこや
 - FMいるか 週刊まち日和(2017年8月19日) 函館てらこや
 - NST「みんなのニュース」 食育学校 第11回はらぺこ塾 (2017年10月12日) 寺子屋つばさ
 - NHK北海道「ほっとニュース北海道」 放課後の子ども集う「てらこや」(2017年12月22日) 函館てらこや

- 新聞**
- 鎌倉朝日新聞 「てらのすけが行く!」(毎月連載) 鎌倉てらこや
 - 産経新聞 「第20回地球倫理推進賞に「鎌倉てらこや」地雷処理・復興支援の会」(2017年3月13日朝刊) 鎌倉てらこや
 - 北海道新聞 みなみ風 寺を拠点に「学び、遊び」サポート 「函館てらこや」始まる(2017年5月19日) 函館てらこや
 - 函館新聞「函館てらこや」あす初イベント 学び、遊びの場に(2017年5月24日) 函館てらこや
 - 北海道新聞 みなみ風「函館てらこや」園児ら総勢100人参加 レク楽しみ食事作法も(2017年6月29日) 函館てらこや
 - 函館新聞 函館てらこやでチャウダー提供 (2017年7月25日) 函館てらこや
 - 神奈川新聞 「鎌倉建長寺で小中学生ら合宿 思い引き継がれ15年」(2017年8月12日朝刊) 鎌倉てらこや
 - 朝日新聞 「心のミルク」(てらこや絵本広告掲載) (2017年12月15日夕刊) 鎌倉てらこや

- 雑誌**
- 『月刊ハイゲンキ』「行動派たちの新世紀 子どもたちを輝かせるコミュニティ作り～NPO法人鎌倉てらこや」(2017年8月号) 鎌倉てらこや

- WEB 他**
- キャンパス・コンソーシアム函館 自分らしく社会を生き抜く力を育む取り組み「函館てらこや」(2017年5月30日) 函館てらこや
 - 公益社団法人東京青年会議所千代田区委員会2017年度7月例会「ヒーローアカデミー」～2045年、あなたの子供は未来を生き抜けるのか～ 報告書 大西理事長講演事業報告書
 - 学研キッズネット「シリーズ専門家に聞く」(全4回) 現代版てらこやで地域ぐるみの教育を (2018年1月) 大西理事長インタビュー <https://kids.gakken.co.jp/parents/>